

## 事業活動報告

### 巨樹・古木フォーラム in ふなばし

～巨樹・古木 未来の子供たちへ継承する地域の宝～

#### 開催報告

松原 功

千葉県船橋市のふなばしアンデルセン公園で行なわれた「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」で、NPO 法人 樹の生命を守る会主催の「第3回 巨樹・古木フォーラム in ふなばし」を開催しましたので、以下に報告します。

記

日 時：平成19年10月12日（金）

13:00～15:00

場 所：ふなばしアンデルセン公園

イベントドーム

参加者：約300名



## プログラム

### 第1部 巨樹・古木フォーラム

〔主催者挨拶〕

第24回全国都市緑化ふなばしフェア実行委員会事務局長 工藤芳雄

NPO 法人 樹の生命を守る会 理事長 中村元英

〔基調講演〕

後世に残したい絶滅危惧種『カザグルマ』

金子明人（日本クレマチス協会理事、船橋のかざぐるまをまもる会顧問）

〔活動事例発表〕

「船橋市の巨樹・古木」

平栗瑞枝（北総の森・巨樹古木研究会）

「森のめぐみを活かす」

小林正幸（森林インストラクター）

「市民参加の森づくり」

吉田初子（NPO 法人こびすくらぶ）

「県民の森の活動」

塚原道夫（千葉県立船橋県民の森管理事務所）

〔謝辞〕

小池英憲（NPO 法人樹の生命を守る会）

司会：相川美絵子（NPO 法人樹の生命を守る会）

### 第2部 パネルセッション・交流会

樹木診断実演（神庭正則樹木医によるレジストグラフ等の実演）

パネル展示（代表的な巨樹・古木のパネルを会場に展示し、樹木医が必要に応じて解説を行う）

展示・販売（巨樹・古木ガイドマップ、樹木医関連の出版物など）

交流会（樹木医と参加者の交流の場）

司会：塚原道夫（NPO 法人樹の生命を守る会）



基調講演では、クレマチスの第一人者である金子明人氏に、クレマチスの品種改良の歴史を興味深く語っていただき、クレマチスの改良になくてはならない「カザグル

マ」が絶滅に瀕している現状についてお話がありました。絶滅に瀕している理由としては、宅地化、盗掘による自生地の激減だけでなく、外来植物の侵入も問題になっています。増殖することはできますが、自生地であってこそその原種です。また、巨樹・古木もその場所であってこそそのもの自身の大事さがわかってもらえるものです。カザグルマと巨樹・古木、ともに手を携えて保護・保全の道を歩んで行きたいと呼びかけられました。



金子明人氏による基調講演

活動事例報告では、平栗氏より巨樹・古木のパネルも用いての「北総の森・巨樹・古木研究会」の活動の紹介がありました。「ちば里山クラフト研究会」の小林氏からは、森の恵みを生かしたクラフトや楽器作りの魅力と、里山保全活動への広がりを紹介していただきました。吉田氏からは、「NPO 法人こびすくらぶ」の設立する経緯と森林整備活動の報告がありました。塚原氏からは、船橋県民の森で行われている観察会や体験教室などの紹介があり、都市近郊の森林の有効な活用法について提言がありました。この活動事例の合間に、創作の「巨樹・古木体操」で参加者自身が樹木になったつもりで伸び上がったり風に揺すられたりする場面もあり、みなさんに楽しみながらリフレッシュしてもらいました。

第2部のパネルセッション・交流会では、巨樹・古木 20 本ほどの展示パネルを用意し、当会の樹木医が丁寧に説明をしました。樹木診断実演では、神庭正則樹木医を招き、間近で線樹木腐朽診断機やレジストグラフ、インパルスハンマーによる樹木診断実演していただきました。多くのギャラリーで人だかりになるほどでした。

多くの市民の方に来ていただき、緑の大切さや樹木医の活動を広く知っていただく機会になったことと思います。



巨樹・古木のパネル展示



レジストグラフの実演



線樹木腐朽診断器による樹木診断